

売上高80億円の大台に到達

ジャパンスルト

社長 大川 洋氏

—家庭用の近況を教えてください。

大川 今年に入りこだわりの国内塩の売れ行きが伸びている。特に内容にこだわった高額な国内塩の動きがよいという話を聞いています。PBを立ち上げるなど継続してリーダーが付いているようです。

—特殊用塩、特殊製法塩の状況は。

大川 特殊用塩を2008、11年の過去4年間で見ると、前期の売上げに占める割合は16%シェアとなり、伸び率は108.1%と過去最大になっている。逆にセンター塩の構成比は残念ながら4年前の26.5%が20.4%に減少した。センター塩と特殊用塩の売上げはこの4年間で、かなり両者の間が縮まっています。

—特殊用塩を小売用と業務用に分けると、たいがい拮抗している。業務用がポリユーム的によく伸びている傾向がある。

センター塩は85.8%。特殊用塩の小売は96.25%。業務用が117.44%と伸びている。業務用と小売の11年度の比率は小売4に対し業務用6の

特殊製法塩、過去最大伸び

—特殊用塩、特殊製法塩の状況は。

大川 特殊用塩を2008、11年の過去4年間で見ると、前期の売上げに占める割合は16%シェアとなり、伸び率は108.1%と過去最大になっている。逆にセンター塩の構成比は残念ながら4年前の26.5%が20.4%に減少した。センター塩と特殊用塩の売上げはこの4年間で、かなり両者の間が縮まっています。

—特殊用塩を小売用と業務用に分けると、たいがい拮抗している。業務用がポリユーム的によく伸びている傾向がある。

センター塩は85.8%。特殊用塩の小売は96.25%。業務用が117.44%と伸びている。業務用と小売の11年度の比率は小売4に対し業務用6の

予算を継続する。先般、埼玉に避難されている2百数十人の方に対し、パスタの炊き出しに当社社員が16人ぐらい行った。

水やブラッドオレンジジュースなどを振る舞い、非常に喜んでいただけました。福島県の皆さんには日頃より大変お世話になっており、日本人としてしっかり支えていかないとならない。10年計画でしっかりやっていかないとならないと

—会社業績はいかがです。

大川 前期売上高は80億7千5百万円と80億円の大会に乗った。営業利益1億1千2百万円、経常利益1億3千8百万円、純利益5千5百万円の増収増益。事業内容としては福島支店が前年比70%で3割減少となり、栃木、群馬も1割減少、これを何とか跳ね返し伸ばすことができた。こだわり商材が伸びており、飛躍成長のための初年度に合わせた受け



新商品「ペブルス」

わり商材が伸びており、飛躍成長のための初年度に合わせた受け

止めている。

今後も継続してジャパンスルトは日本海水としっかり連携を取りながら支えていく。新規事業へのあくなき追求を行い、お客さまの満足と笑顔の実現に向けて邁進していきます。さらに脚下照顧、足を元を見つめてしっかりと塩事業を成り立たせていきたい。

日本海水の小名浜工場が再開が見込まない中、当社はインポーターとしていろいろな商品を供給できるので、シナジ効果を生みながら供給をしっかりと賄えるように塩の安定供給にいそしみたい。イタリア食材などのセカンドコアの食材にサードコアの食材もできつつある。これからは総合商社の機能を発揮して頑張りたい。